

MIRS1901

システム提案

2019/10/04

システム提案書



<http://www2.denshi.numazu-ct.ac.jp/mirsdoc2/mirs1901/dsgn/num0001a/>



Cocktail Project

Table of Contents

1. Concept

2. ☆ Outline

3. Product Image

4. Function

Concept

Concept

我々の遊びは、日々多様化している。昔はアナログなボードゲームないし、外でスポーツに興じる他なかった。

しかし、現代では違う。我々の多くは、休憩時間にスマホに触れている。子どもたちでさえ、回転寿司等の待ち時間に親のスマホで遊んでいるのを見かける。

それほど、デジタルデバイスというものは遊びの一部として、我々の生活に溶け込んでいるのである。

しかし、昼休みの小学生の遊びを見てみると昔と何ら変わっていない。

前述したアナログな遊びに勤しんでいる。

最も、スマホが持ち込み禁止ということも大きいかもしれないが…

これは、デジタルデバイスでの遊びが運動を伴わないということも大きいだろう。

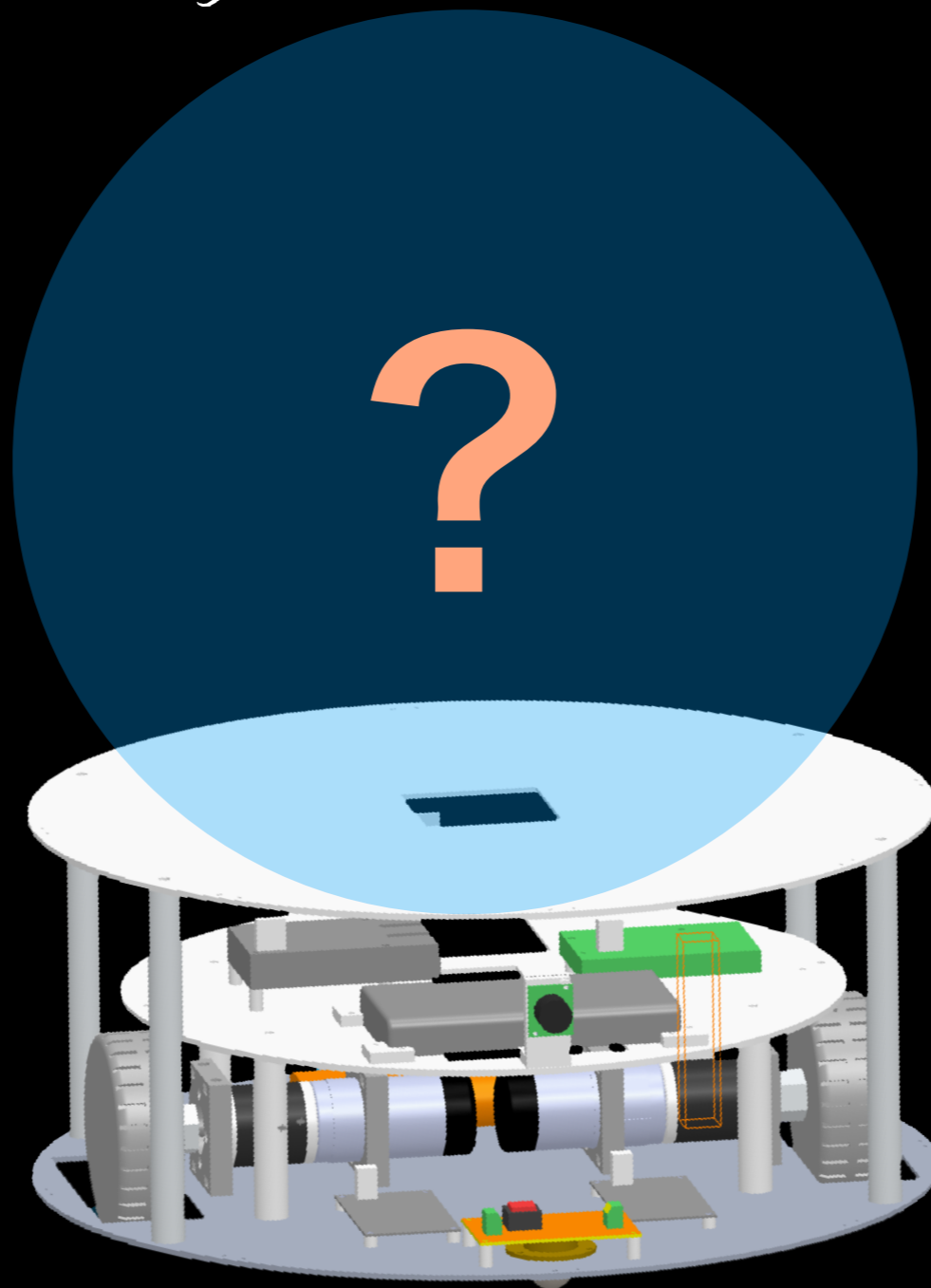
ならば、混ぜてしまえばいい。

Concept

プログラミングを、遊びの相棒に

Project Outline

Project Outline



MIRS標準機上で自由にパーツを組み合わせ、様々な遊びを実現する

Project ☆ Outline

・想定ユーザー

小学生

・想定使用環境

休み時間に遊ぶ

授業の一環としての活用

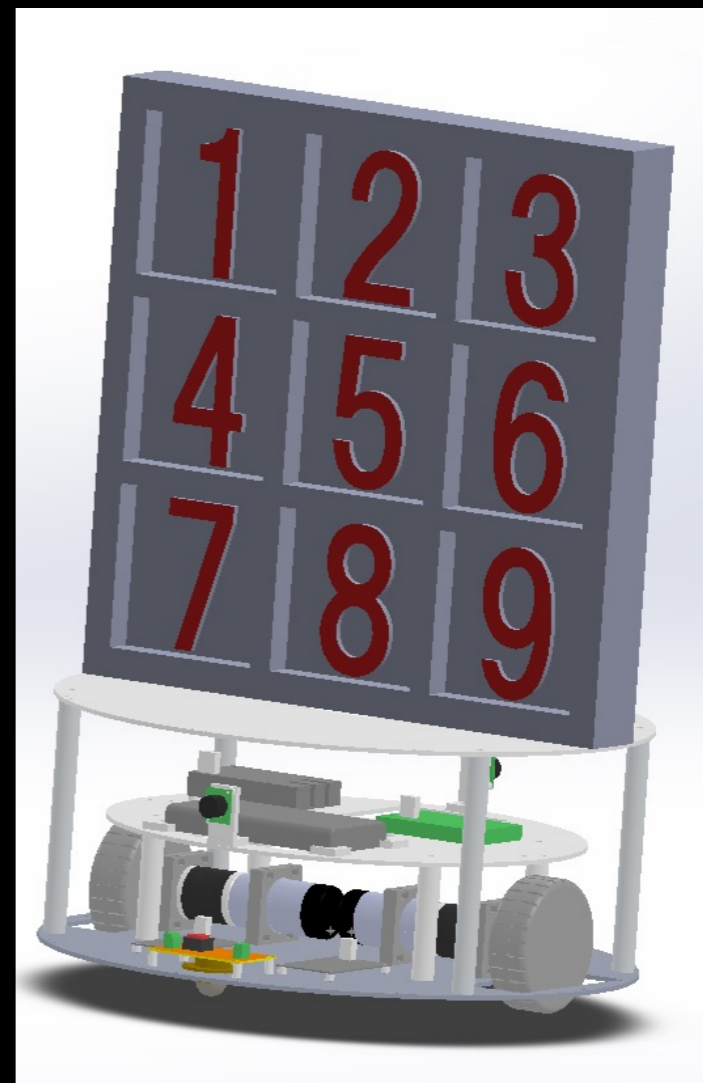
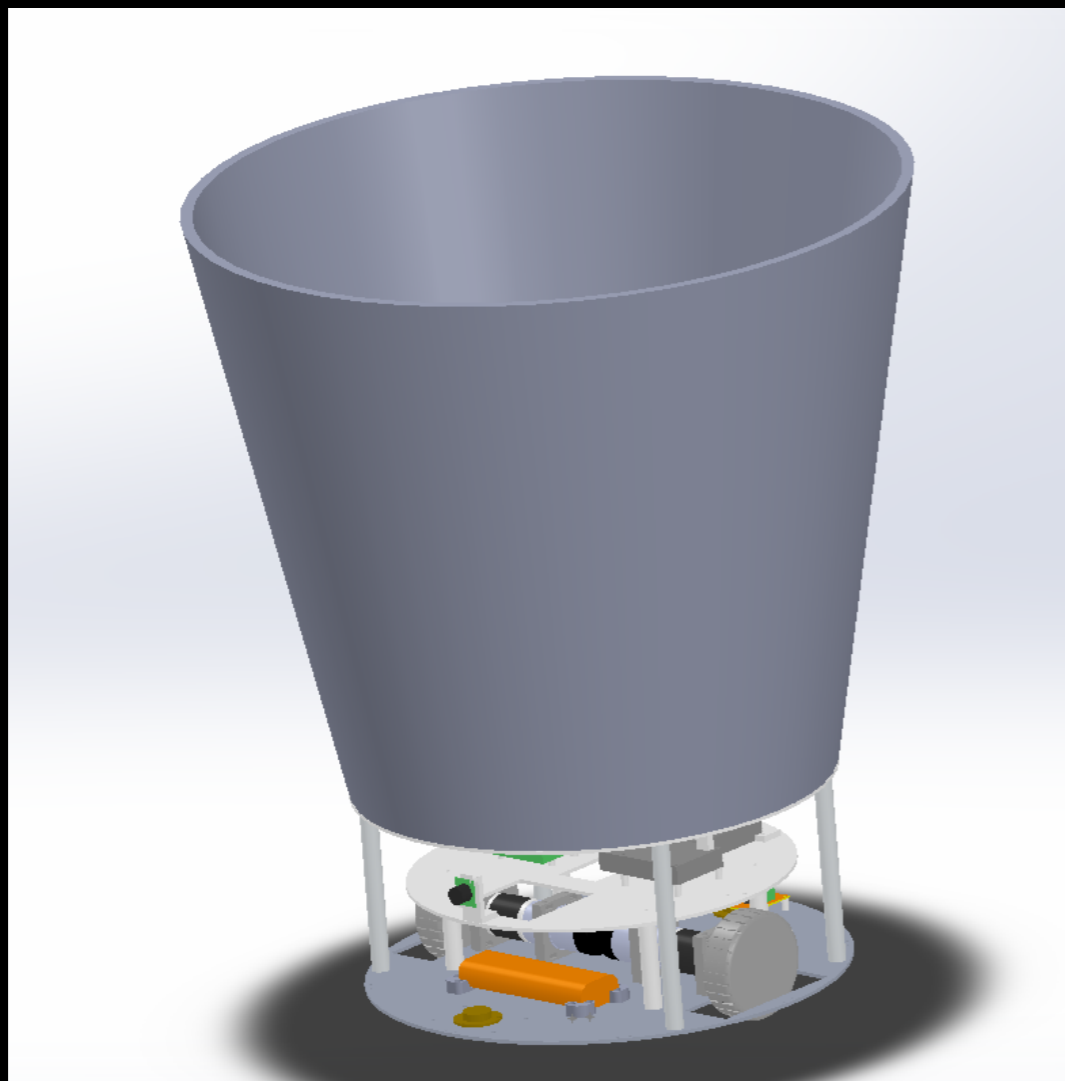
Project ☆ Outline

・特徴

ユーザーは、ハードウェアとソフトウェアをカクテルのように自由にブレンドできる。

Product Image

Product Image



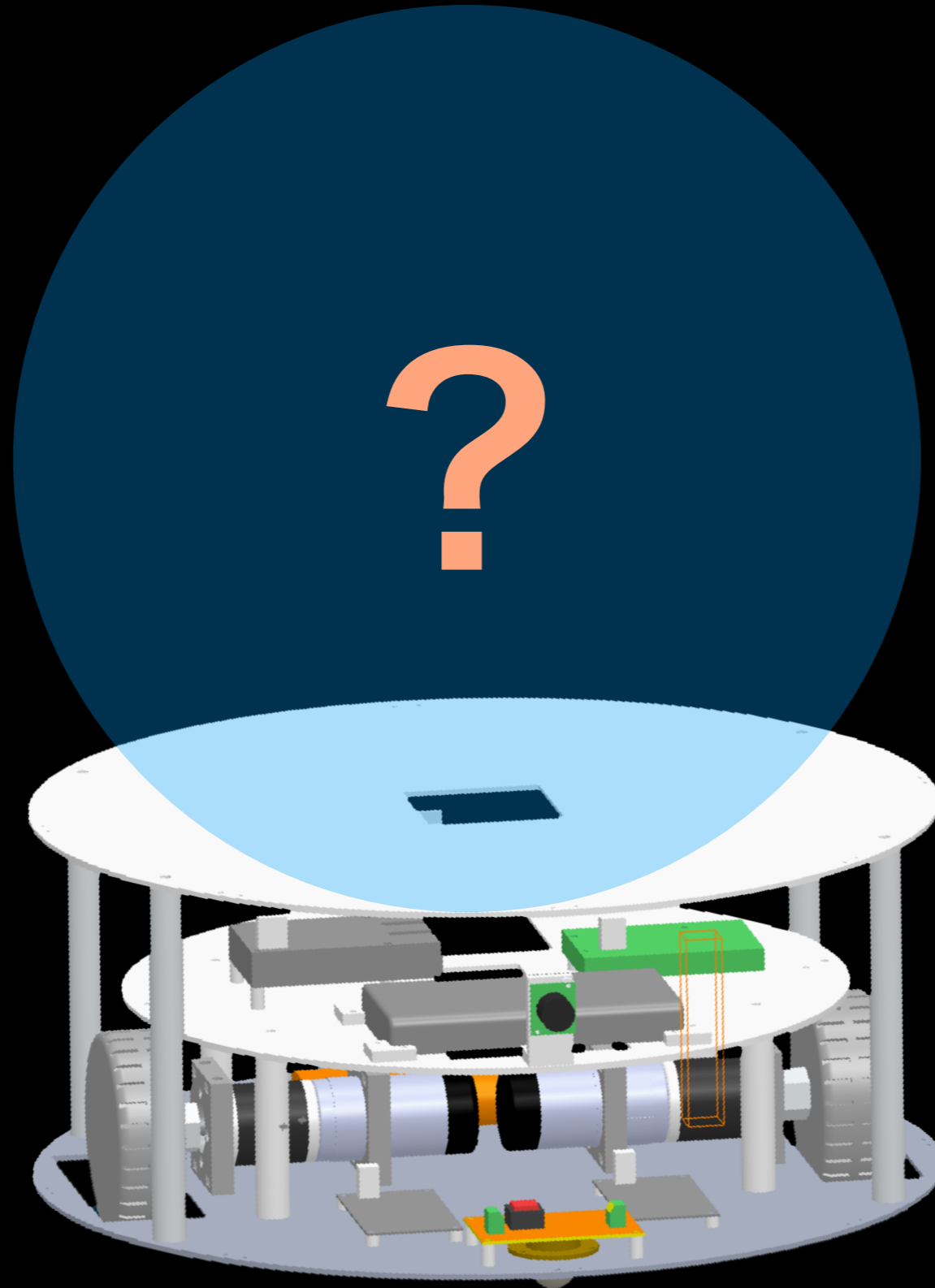
様々なパーツを利用可能

Product Image



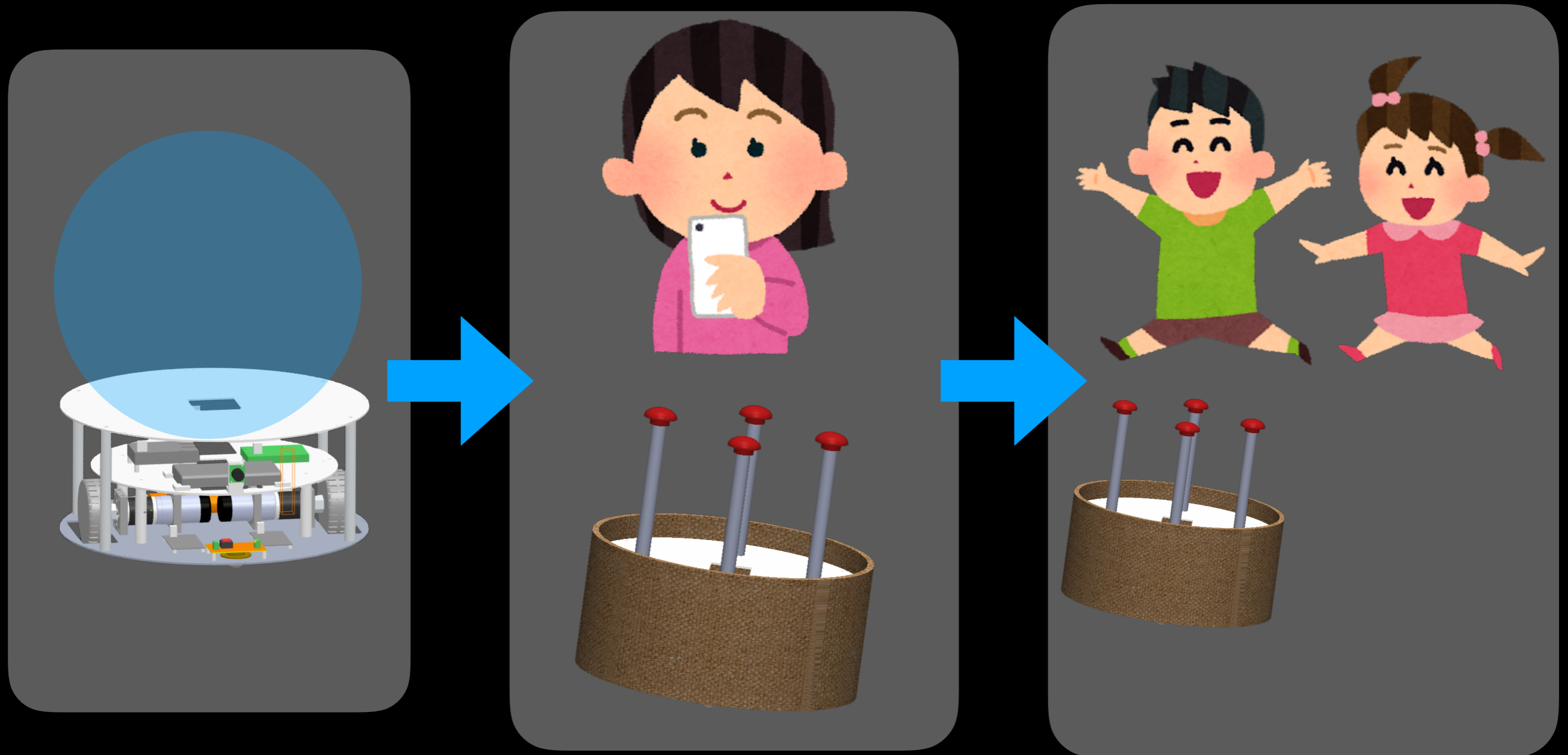
センサ利用のイメージ(鬼ごっこ)

Project Outline



Project ☆ Outline

・使用の流れ



Functions

Functions

ユーザーは

- ある程度の制限のもとで、自由にパーツを組み換えられる
- スマホ・タブレット上で動作のプログラムが可能

Modifications from the original

Modifications from the original

ソフトウェア

- 新しいアプリケーションを作成

(プログラミングおよびMIRS本体との通信のため)

ハードウェア

- 組み換え用パーツの作成

(パネル、チューブ、etc...)

